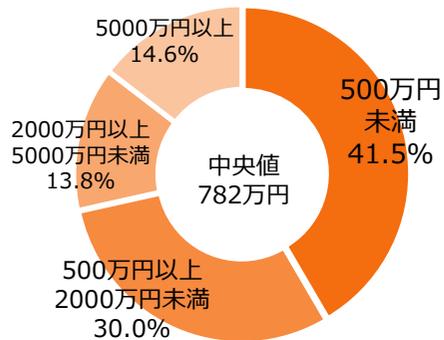


現状・課題

- 地域SCの80%以上は予算規模が5,000万円未満である。
- 地域SCの担当者の多くは自治体からの出向者である。数年で異動となるためノウハウが蓄積されない。独自で職員を採用している地域SCは1割未満。
- 新しい人材が着任した際の研修・支援制度がある地域SCは23.9%に過ぎない。
- 予算規模を拡大し、経営基盤を安定させること、人材の育成・確保が課題である。



地域SC団体調査より予算規模（令和4年度）

事業内容

スポーツツーリズム等のスポーツによる「まちづくり」を推進していくため、その担い手となる地域スポーツコミッション（地域SC）の経営の安定や特に**運営を担う基盤人材の育成・確保**（質的な向上）に向け、**①新たな事業展開へのチャレンジ等をモデル的に支援**するとともに、**②研修講座の実施等の人材育成サポートや人材確保に向けたマッチングの実証**を促進する。

事業実施期間 平成27年～

地域SC経営多角化等支援事業 1.2億円

- ・アクティビティコンテンツの開発やガイドの育成など**交流人口拡大に資する持続性のある事業（アウター事業）**や、**住民の外出や交流を促す地域住民向けの事業（インナー事業）**、それらの担い手として**副業兼業人材等を活用**するなど、多角的な事業展開へのチャレンジを支援する。
- ・地域を挙げた取組を一層後押しするため、地域SCの新設に必要な費用を支援する。

地域SC基盤人材育成サポート事業 0.6億円

- ・地域SC経営多角化等支援事業に対し、**個別にコンサルティングを実施し、補助事業の効果を最大化**する。
- ・**研修講座等の人材育成サポートを本格実施へ移行**する。
- ・**人材確保に向けたマッチングをモデル的に実証**する。

